

SBテープによるコーティングの手順

SBテープ、VMテープは何れもブチルゴム系の一般には感圧型と呼ばれているもので、コーティング面に押し付けるだけで接着できますので非常に便利です。

作業の前には付属の取扱説明書をお読みください。

コーティング剤に必要とされる特性

- ・防湿、防水に優れ、電気絶縁性が高いこと。
- ・ひずみゲージ、リード線、試験体表面との接着性が良いこと。
- ・試験体への拘束が無いこと。

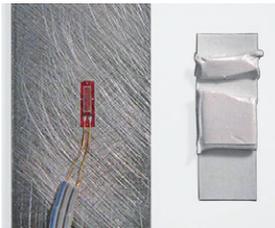
ひずみゲージへ及ぼす湿度の影響

- ・接着剤の吸湿によるゲージ抵抗値の変化。
- ・ひずみゲージの吸湿により、ゲージ受感部に腐食を生じ、抵抗値が変化。
- ・ひずみゲージの吸湿による絶縁抵抗の低下。

SBテープによるコーティング

1. SBテープのトリミング

ハサミでコーティング範囲に必要な大きさを1枚、リード線の下敷き用に5~10mmの大きさを1枚それぞれ切り取ります。



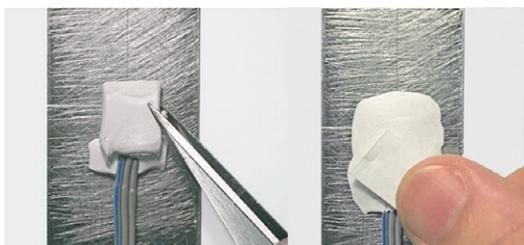
2. リード線のコーティング

リード線の下敷き用にリード線を引き上げて、SBテープをコーティング面に押し付けます。



3. 全面コーティング

リード線を下敷き用のSBテープに押しつけ、コーティング用のSBテープをひずみゲージの上部に押し付けて、気泡の残らないように離型紙を介して、よく加圧します。



次にコーティングするVMテープより小さめにSBテープを押し広げます。

SBテープ

ブチルゴム
使用温度範囲: -30~+80°C
内容量: 10mm幅×3mm厚
5m/巻

VMテープ

ブチルゴム
使用温度範囲: -20~+80°C
内容量: 38mm幅×0.6mm厚
6m/巻



4. VMテープのコーティング

VMテープを被せ中心部より加圧し空気が残らないように密接させます。作業完了

